

## 国際大学交流セミナーご挨拶

日本学生支援機構  
理事 簗島 則和

皆さん、お早うございます。

只今、ご紹介いただきました日本学生支援機構（JASSO）の簗島と申します。日本学生支援機構を代表して、ひとことご挨拶を申し上げます。

まず、私どもの機構について簡単にご紹介させていただきます。

日本学生支援機構は、日本人学生向けの奨学金貸与事業、留学生支援事業及び学生生活支援事業を通じて、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な優れた人材を育成するとともに、国際理解及び交流の推進を図ることを目的とした独立行政法人です。

「国際大学交流セミナー」は、我が国の大学と海外の大学間の国際教育交流の増進に寄与することを目的に32年前より実施している事業です。

2002年度からは財団法人みずほ国際交流奨学財団の協賛を得て、より多くの大学を支援できるようになりました。今年度は全体で11大学を採択しておりますが、そのうち横浜国立大学を含め3大学のみずほ国際交流奨学財団の支援により行っています。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

今回、横浜国立大学では、「オリンピック・博覧会の開催と都市の現代化、国際化についての日中大学交流セミナー」と題して、講義や学生によるディスカッションの他、みなとみらい21の見学や都市交通実態の体験など、過去日本で行われたオリンピックや博覧会が開催都市の発展にどのように貢献したかを知り、日本の現代化・国際化の過程を具体的に理解するための日程が組まれています。

このセミナーでの10日間は、貴重な体験となり、21世紀を担う日本と中国の若いみなさんの将来にとって、大きな意味を持つことになるかと信じています。

そして、中国での北京オリンピック、上海万博開催を成功させるために日本と中国の若者が過去の経験から学び、協力しあう精神を涵養するというこのセミナーの目的が達成され、更に、このセミナーを通して三大学、ひいては日本・中国両国の友好交流が益々深まりますことを祈念いたします。

最後になりましたが、このたびのセミナー実施にあたりご尽力いただきました ながしま 長島

あきら 昭 むらた 国際担当理事、ただよし 村田 忠禧 教授をはじめとする横浜国立大学の関係者のみなさま、

北京師範大学及び華東師範大学の関係者のみなさまにお礼を申し上げて、私の挨拶といたします。

平成19年2月16日